

学校だより 浅海



2022
11

松山市立浅海小学校
2022. 11. 1

「許す」ことの価値

校長 秋山 徹也

『ごめんなさい』は！」「きちんと謝りなさい！」「そんな謝り方はないでしょ！」

私がまだ20代で、娘が2歳の頃の話です。今思えば娘は、「イヤイヤ期」だったのかもしれない。冒頭の言葉は、そんな「2歳」に対して発せられた私自身の言葉です。今思えば小さな娘がしたかわいいたずらや「失敗」に対してひどい躰を、いえ、躰とは言いがたいことを平然と行っていました。

そんなとき、当時担任していたクラスの子が、家族について考える授業の中で、「謝らなくても許してくれるのが家族です！」と発言したのです。私自身の「辞書」にない考え方に戸惑いながらも、「いいね！とてもやさしいご家族なんだね。」と返しました。しかし、心の中では、「いや、甘いことを言っていてはいかん！」と自身を省みることもせず、当時20代の新米お父ちゃんは、愛娘に対して、『正しく』育ててやらねば！』と、間違った方向に愛情を注いでいったのです。

世の中に目を向けてみると、一度振り上げてしまったこぶしの下ろし方が分からない、または、分かっているものの下ろしてしまうと「負け」を認めることになってしまうため、下ろせない、下ろしたくない、というように、「謝らないと許さない！」どころか、「謝っても許さない！」というようなことさえ、散見されるように思います。

様々な事情や価値観などが錯綜する世の中ではあるし、全てを受容し許すべきとは思っていないのですが、日頃浅海の子どもたちを見ていて、「そうそう。人を許すって大切なことだったな。」と、改めて思い出しました。今後も、許すということの温かさや強さ、また、許すことがもたらす大きな喜びや幸せの存在を、一緒に考えていきたいと思っています。

その後、新米でなくなっていったお父ちゃんは、当時の「2歳」はじめ、家族やクラスの子どもたち、職場の同僚など、たくさんの人たちとかかわる中で、少しずつ、許すことや許されることに価値を見だし、そのたびに大きな喜びや幸せを感じていきました。

遅ればせながら、先日の人権教育参観日は、大変お世話になりました。その流れをくみ、今月はこのようなことについて考えてみました。

「弱い者ほど、許すことができない。許すということは、強さの証だ。」とは、「インド独立の父」、ガンディーの言葉です。より一層みんなが「強く」なってきたいと思っています。



秋祭り 葛城神社での獅子舞

10月11日(火)、4・5・6年生が3年ぶりに葛城神社で獅子舞を披露しました。保護者の皆様や地域の方の前で練習の成果を見ていただくことができ、児童はとても満足そうでした。年に何回かある発表の場を励みに、先輩から引き継がれている獅子舞を絶やさないように、頑張っています。



11月12日(土) 参観日のお知らせ

体育館で、合唱・合奏や獅子舞を披露します。

学校評議員の方々にも、児童の頑張りを見に来ていただきますようご案内しています。ぜひ、お越しください。

◆11月12日(土) 9:40~10:30

◆浅海小学校体育館

人権教育参観日

10月15日(土)は、人権教育参観日でした。3年ぶりに地域の方にも参加していただくことができました。授業参観後は、松山市人権啓発課指導員の齊藤照夫先生に「ジェンダーフリー」についての講和をしていただきました。児童・保護者の皆様・地域の方々と共に、人権について考えることができた貴重な一日となりました。



全力を出し切った陸上大会

10月25(火)、松山市小学校総体陸上の部に5・6年生14名の児童が参加しました。

選手一人一人が練習の成果を発揮し、自己ベスト更新したり、迫ったりした記録を出すことができました。また、同じ北条地区の他行の選手を積極的に応援するなど、よい交流の機会となりました。

保護者の方々には、朝早からの見送りや夕方の出迎え、スタジアムでの応援などをいただき、ありがとうございました。

